

ベンチャー企業・中小企業との M&A・資本提携

— ミニマムデューディリジェンスの勧め —

近年ベンチャー企業・スタートアップ企業を対象にしたM&Aや、中小企業の事業承継の手段としてのM&Aが増えています。

いずれも大企業同士のM&Aと違って、人的、予算的、時間的な制約が強かったり、大企業とは違った法的問題が見つかることがよくあります。

本セミナーでは、これらのM&Aを進めるうえでの具体的な注意点や紛争事例をご紹介します。

また、本格的なデューディリジェンスを行う予算がない場合に、必要最低限押さえておくべきポイントとその調査手法をご提案します。

program

2019

5/30 Thu

9:30 — 11:30

受付開始 9:15 |

定員 | 30名

会場 |

ト斯拉ブ山王健保会館
(2階会議室)

東京都港区赤坂2丁目5-6
ト斯拉ブ山王健保会館

【アクセス】

◆地下鉄銀座線・南北線
「溜池山王駅」10番出口より
徒歩3分

◆地下鉄千代田線「赤坂駅」
2番出口より徒歩5分

◆地下鉄銀座線・丸ノ内線
「赤坂見附駅」10番出口より
徒歩7分

参加費 | ￥16,000 (税別)

※参加費は事前に銀行振込にて
お支払ください。

※お振込み先情報は受講票メール
にてお知らせいたします。

※参加費の振込み手数料はお客様
のご負担にてお願いします。

お申込みはWEBサイトから

レクシスセミナー



<http://www.lexis-seminar.jp/>

1 ベンチャー企業・中小企業を対象にしたM&Aの留意点

2 事業承継型のM&Aの留意点

3 ベンチャー企業・中小企業に対するデューディリジェンスのポイント

- 制約のある中でどのような進め方をすべきか
- 重点的にみるべき項目は何か
- 結果をどのように生かすか

4 契約交渉上の問題点

5 紛争事例の紹介

speaker



ベンチャーラボ法律事務所 代表弁護士

淵邊 善彦 氏

1987年東京大学法学部卒業。89年弁護士登録。95年ロンドン大学UCL (LL.M.) 卒業。00年よりTMI総合法律事務所にパートナーとして参画。08年より中央大学ビジネススクール客員講師(13年より同客員教授)。16年より18年まで東京大学大学院法学政治学研究科教授。19年ベンチャーラボ法律事務所開設。

主にベンチャー・スタートアップ支援、M&A、国際取引、一般企業法務を取り扱う。

主著：『AI・IoT時代の企業法務』（共著）、『業務委託契約書作成のポイント』（共著）、『契約書の見方・つくり方（第2版）』、『ビジネス法律カトレーニング』、『ビジネス常識としての法律（第2版）』（共著）、『シチュエーション別 提携契約の実務（第3版）』（共著）、『会社役員のための法務ハンドブック（第2版）』（共著）など。



LexisNexis

お問い合わせ

主催 | レクシスネクシス・ジャパン株式会社 / ビジネスロー・ジャーナル セミナー担当

✉ seminar@lexisnexis.co.jp